

KS Le Monde de Keishin

SUPER DUM SPIRO

慶進生の描く夢
夢の彩りが慶進の世界

vol. **5**
2015

CONTENTS

- 2 コラム「慶進生の描く夢
夢の彩りが慶進の世界」
- 3 夢中がつくる将来の夢
- 4 1st Stage
慶進の世界が、慶進生の夢を広げる
- 5 語学研修 in Australia
- 6 2nd Stage 深く広がる慶進生の夢
- 7 アンケート / La Classe de Keishin
- 8 3rd Stage 外の世界が慶進生を磨く
- 9 進学羅針盤
- 10 同窓生
- 12 La Photo de Keishin
お知らせ
小さな本箱



慶進生の描く夢 夢の彩りが慶進の世界

「こんな夢をみた」

夏目漱石の『夢十夜』ではありませんが、そんな語りをしている人をよくみかけます。

夢というのは不思議なものです。はたと目を覚ますと、今の夢は何だったのだろうかと思うことがしばしばあります。荒唐無稽な夢で訝しむこともあります。恐ろしい夢でうなされることもあります。そして、時にその夢が妙に現実と似ていたり、まさに現実となったりすることもあります。現実と空想の狭間にあるのが夢なのかもしれません。

そんな夢だから、これまでに多くの人々が夢について考えてきました。古代バビロニア人からフロイトまで熱心に夢の解析に努めました。サルバドール・ダリは夢の世界を描きました。また、夢は神のお告げと考えた人もいました。古代のコンスタンティヌス大帝や中世のシャルルマーニュは夢のお告げで大帝国を築き上げたと言われています。

表紙絵の世界遺産モン・サン・ミッシェルも、夢から造られました。アヴランジュの司教オベールの夢に大天使ミカエルが現れ、「かの山に聖堂を建てよ」と命じたことで、この山に小聖堂が造られたという伝説はつとに有名な話です。しかし、話はそれでは終わら

せん。オベールが小聖堂を建立した八世紀から千年以上にわたり今でも、人々がこの山に夢を見続けているのです。だが、単に夢見心地でいるわけではありません。この山に夢を抱き、その夢を現実に行っているのです。ベネディクト修道会の修道院が置かれたのをきっかけに、修道院と聖堂は上へ上へと伸びていきました。英仏百年戦争の際には城塞となりました。フランス革命後は「海のバステューユ」として恐れられました。そうした人々の抱いた夢が、今のモン・サン・ミッシェルを造ったのです。そして、今では多くの人々を魅了する観光地の役割も果たしています。

慶進にも多くの夢があります。慶進生が抱いた夢です。「成績をあげたい」や「部活動で活躍したい」といった夢、「医者になりたい」や「科学者になりたい」といった夢。慶進生の夢は様々です。この慶進生の描いた夢の彩りが「慶進の世界 (Le Monde de Keishin)」を作り上げていくのです。本紙では慶進生の描く夢をお伝えしたいと思えます。

6年中高一貫教育 英知を尽くし、未来を切り拓く。

慶進では生涯にわたって役立つ学力を身につけるために、6年間を2・2・2の3つのステージで構成しています。勉強のおもしろさを知ることから始まり、生徒たちが主体的に学習に取り組み、学内外の様々な体験活動で、豊かな人間性と、ともに生きる力を育み、次世代のリーダーとなる人材を育てます。

1st Stage

基礎学力養成期

中学1年生

中学2年生

2nd Stage

実力充実期

中学3年生

高校1年生

3rd Stage

発展応用期

高校2年生

高校3年生

夢中がつくくる将来の夢

慶進の世界には、慶進生の数だけ夢があります。一つ一つの夢が、個性的で輝きに満ちていることでしよう。それらを全てお伝えすることは、本紙の紙面が許しません。そこで、慶進生を代表して生徒会副会長の上田倫也くん(中二)に、抱く夢を教えてください。

今思い返してみると、僕の夢はその時々で違っていた気がする。

僕がその時に好きだったものや熱中していたことが夢につながっていた気がする。

僕の好きな物の中に読書がある。僕は保育園のときから今までずっと読書が大好きだ。小さい頃は毎日絵本を読んでいた。小学生の中学年になると図書館へ行くようになった。あるシリーズの絵本にはまたたのをきつけに、そのシリーズの長編小説を読み始め、それからは小説を読むようになった。小学生のとき、昼休みはよく図書室に居たし、五年生のときには図書委員になった。

そして、慶進中学校のオープンキャンパスで、図書室を見学したときに、その当時僕がはまっていた本が何冊も置いてあるのを見て、正直かなり興奮し、「絶対にここでたくさんの本を読みたい」と思った。だから、

生徒会副会長 11期生

上田 倫也 (中二)



ら、そのときの夢は「慶進中に入学すること」だった。

こんな感じで僕は読書が特に好きだ。だから、がっかりしたことがある。それは慶進中学校で発表された各クラスの学期間の「図書の貸出数のランキング」だ。二年生二クラスが五位、六位。その上、最下位の六位だったのは、僕のいる一組だったからだ。

だから、僕は友達に図書室の利用を少しずつでも勧めていきたいと思っている。なぜなら、慶進の図書室では、入れて欲しい本のリクエストができるからだ。僕も一年生のときに頼んでみたのだが、一ヶ月くらいで本が入った。自分の読みたい本を入れてもらえたということは、とても印象に残っている。

また、僕は今、西尾維新という人の本が好きなのだが、友達にもそういう好きな著者を探してみても、まずはその人の本だけを読むことから始めてみると読書の面白さや、興味を持ってもらえるかな、と考えている。

そう考えるようになってから、僕は最近、本に携わる仕事を将来の夢として考えるようになってきた。具体的には、本の編集の仕事に就きたいと考えている。さらに具体的に言うと、僕の好きな本の出版社であることが多い講談社がいいなあ。などと考えている。そんな感じで、自分の将来も少しずつ考えていきたい。

「新理科室」

平成二十七年(2025)度二学期から、四号館五階に新しく「化学・生物実験室」「物理・地学実験室」が完成しました。理科に対する興味・関心を高めるとともに、これから変化する入試制度を見据えた実験室です。今後必要とされる情報収集力・思考力・問題解決力を、実験を通して養っていきたく考えています。

化学・生物実験室にはドラフトチャンバーを設置し、新たな実験を行える環境となりました。また、一人ひとりが主体的に実験に参加できるように、二人一組で実験に取り組む設備となっています。

物理・地学実験室には電子黒板を設置し、時代の流れに対応したICT教育が実施できる環境となりました。これにより、様々な映像を簡単に見ることができるとともに、イメージしにくい現象もアニメーションで再現し、見て理解を深めることができます。実験器具についても、現在さらなる充実を進めている状況です。



▲科学・生物実験室と天体望遠鏡

この夏、中学2年生が科学の甲子園山口県大会で優勝し、十二月に全国大会に出場します。また、今年度から科学研究会も発足し、「なぜ?」を追求する活動に励んでいます。このような活動や授業での取り組みを通して、慶進では今後の科学の発展に貢献できる人材を育成したいと考えています。

科学の進歩には「夢」があります。50年後・100年後の世界はどのように変化しているかと思いませんか。今とは間違いなく異なるでしょう。その変化をもたらすのはあなたかもしれません。

理科 齊藤 光伸



慶進の世界が、慶進生の夢を広げる

慶進中学校では、人間力を育み、志を立てるためのさまざまな校外活動が各学年で用意されています。そこで、校外地理・歴史学習 萩往還歴史ウォーク、語学研修が慶進生にどんな夢の世界を描かせたのか教えてもらいました。

校外地理・歴史学習



12期生
吉岡直輝(中1)

僕は慶進中学校に入学する前は、とくに夢を持っていませんでした。実の所、今もまだ持っていません。しかし、この夏休みに行った門司港レトロでの学習で、入学前と今現在では少し、自分の心境が変化したような気がします。

まず、この門司港レトロに行った時期は夏休みの中頃で、新しい友達とも仲が深まってきた時期

中一の夏休みに門司港レトロ地区を見学します。現地まで電車やバスやフェリーを使い、班ごと移動します。事前の学習で自分たちのテーマを決め、現地でインタビューなどのフィールドワークを行い、三学期末に報告会を行います。調べ学習の方法やプレゼンテーションの力を身につけます。

でした。入学した当初は、顔も名前も知らない人達ばかりで不安でした。しかし、今では僕のような人見知りでも、すぐに友達ができ、とてもよい学校だと思えるようになっていきました。

門司港レトロでの学習では、班別で行動し、行き先も自分達で決めました。僕達の班は主に鉄道記念館を見に行きました。僕は小さい頃に来たことがありましたが、改めて見てみると、新しい発見がたくさんあって楽しかったです。

その後は学年全員で元海上自衛隊のみなさんのお話を聞きました。海上自衛隊の仕事についての話でした。他にも、僕はこの門司港レトロの学習でいろいろな仕事をすることができました。自分の将来にもこんな選択もあるんだなと思いました。

このように、慶進中学校では校外での学習が多いので、これからたくさんさんの機会にふれていく中で、僕は将来の夢を見つけ、その夢に向かって頑張っていきたいです。



萩往還



11期生
小野島里帆(中2)

四月三十日〜五月一日、私達は、高一の先輩方と二緒に萩往還を歩きました。歩き始めから天候が不安定で、途中からは雨も降り出しました。

私は、小学生の時からよく祖父の山登りについていき、山登りが好きだったので、とても楽しみにしていました。が、地面の状態も悪く、思っていた以上に過酷な登山となりました。途中で何度も諦めたくなりましたが、友達と声をかけ合ったり、先輩方の気遣いのおかげで楽しく歩きることができ、とてもいい経験になりました。

今回の萩往還の目的の一つ目は、吉田松陰が歩いた道を歩き、歴史を感じようということでした。ちょうどNHKの大河ドラマ

でも吉田松陰のことをやっていたので、とてもいいタイミングで行けたなと思います。萩往還のような険しい道を何度も行き来した人達の志の強さはすごいなと思いました。

そして目的の二つ目は、普段あまり接することのない高校の先輩との交流を深めることでした。班分けは、将来行きたい学部別で、とても慶進らしいと思いました。同じ志を持った人達と歩くことができた。そのおかげで、まだまだ先だと思っていた大学受験や、就きたい仕事を身近に感じることができました。

歩き終えると先輩方とは別れ、私達は萩で一泊しました。夜は座禅に行き、二日目は松下村塾や萩博物館等で歴史を学びました。

この二日間を通して、私は、みんなと一緒に頑張ることがあることや、早くから夢や目標を持つことが大切なことだと改めてよく分かりました。

私も先輩方のように、夢に向かって努力していきたいし、これからも友達と一緒に色々なことに前向きに取り組んで行きたいと思っています。

中二生と高一生が五月の初めに、山口から萩までの萩往還約26kmを歩きます。中学生と高校生が語りながら歩きます。中二生は萩で一泊し、松陰神社や萩博物館を見学して、維新の原動力を学びます。

語学研修

in Australia



私は今回の語学研修で、
知らない人と英語で話せて、
いい経験になりました。
もっと英語を勉強しようと思いました。
長谷川瑛里

中3の夏休みにオーストラリアで語学研修が実施されます。夏休み中ということもあり希望者に実施されるのですが、毎年多くの慶進生が語学研修に参加しています。およそ二週間日本を離れ、現地の学校に通い、ホームステイをすることで、みんな大きく変わって帰ってきます。語学研修で得たものを探りたいと思います。

英語だけの世界で
自分の判断にしか頼れず、
すぐ成長できた気がします。
貴重な経験ができました。
伊藤 真優

語学研修で自分が 変わったこと 思ったこと

初めて外国で一人で
知らない方の家に泊まると
いうのは不安でしたが、とても
自信をつけることができました。
清水 莉子

自信がつかました！
最近嫌なことがあっても、
「オーストラリアでの環境変化
よりはましか…」と思えます！
橋本奈央子

私はオーストラリアに
行ってから、自分の思っ
ていることをはっきり言える
ようになりました。
岡村 茉奈

私は語学研修に行ったことで、
世界の広さを実感しました。
現地の方のフレンドリーさに驚き、
嬉しかったです。
丹下 櫻子

教科書と実際に行ってみる
のとは見えるものが全然違って
驚いた。だからもっと自分の目で
世界を見たいと思った！
東 知彩

言葉の壁さえなければ、
オーストラリアに
永住したい!!
杉野 正樹

最初はとても不安ですが、
二・三日過ぎると、
相手が何を言っているか
よく分かり、
とても楽しくなります。
曾根 貴将

外国の方と話すことに
対して、自信が持てたし、
とても楽しかった。
山田 果奈

百聞は一見にしかずを 実感する

10期生 石田美優(中三)
私はこの夏、語学研修でオーストラリアに行ってきました。私は海外のドラマや映画がとても好きなので、正直不安や恐怖などよりも、「オーストラリアってどんなところなんだろう」という好奇心の方が大きかったです。実際に行ってみると、色々なことが新鮮で毎日、たくさんの発見がありました。また、今後の私に新たな選択肢を与えてくれま

ました。
今回、語学研修でオーストラリアに行ってドラマなどでは感じることでできないことを経験することができ、これからの私に大きな影響を与えたのはもちろん、自分が思っていた以上に素敵な経験となりました。オーストラリアで出会ったたくさんの人たちが教わったことを忘れずにこれから過ごしていきたいと思いました。





深く広がる慶進生の夢

中高一貫六年間の中で、慶進生は自身の夢が深く広がっていきま
す。入学したばかりの頃は、好きなもの、夢中なものだったのが、やがて
学びたいものに変わっていきます。そして、それが慶進生の進路を決定
し、社会で活躍する世界へ進みます。ここでは、8期生の中本拳士朗く
ん(高二)と原田明斗くん(高二)に学びたいものについて語ってもらい
ました。

今の夢または興味のあるものは
何ですか？

原田 僕は海洋研究に興味があ
り、その中でも特に深海について
研究する職業に就きたいと思っ
ています。

どのくらい深いからが深海な
のですか？

原田 二〇〇メートルから深海
生物が生息し始めるのですが、そ
こは定義が難しいですね。僕は海
底の一番下に何がいるかを見て
みたいんです。現在ある新潜水艦で
も、まだ行くことができないので
すが、実際に自分が行って自らの
目で見てみたいです。

石田先生 原田君は実際に行く
ことができたなら、その後どうした
いですか？

原田 例えば、現在酸素がない場
所で生きている生物や微生物が
発見されているのですが、それ以
外にもいるのか？また、そういつ
た生物の生態を調べたいです。

中本 僕は原田君とは逆で、浅
瀬に近い魚の生態を調べたいで

す。きっかけは釣りです。釣りは釣
れるときと釣れないときがあり
ますが、釣り人の感覚や経験だけ
ではなく、魚自体の習性や生態と
いう視点をもてばもっとたくさ
ん釣れるのではないかと思ったか
らです。

石田先生は、二人の話を聞いてど
んな印象を持ちますか？

石田先生 二人が中学生のとき
から釣りに行っている姿を見てい
て、魚に興味関心があるのは知っ
ていました。しかし同じ魚好きで
も、深海と浅瀬という分野に分か
れ、それぞれ調べてみたい、考え
たいというところまで深まってき
たんだなと感心しています。

釣りが好きという出発点から、
学ぶ対象が変わる過程にはどう
いったことがありましたか？

原田 僕は、釣りを好きになる
より先に動物好きでした。動物
の特集を扱ったテレビ番組を見
て、動物が好きになりました。そ
こから、祖父が漁師だったという
こともあり、釣りに連れて行って

もらうようになり、魚が好きに
なりました。最初は海の生物全
般が好きだったのですが、たまに
モリで魚を獲ることがあり、深海
に興味を持ち始めました。人間
は深く潜るには限界があり、ダイ
ビングでも何時間も潜ることは
不可能なのに、魚は深いところに
行けるのはなぜなんだろうと不
思議に思いました。

中本君はどうですか？

中本 僕も最初は、虫が好きで、
小学生のときなど、捕まえて観
察などをしていました。中学生に
なると、父親に釣りに連れて行っ
てもらい、釣れると楽しいという
のがきっかけで魚が好きになり
ました。最初は魚よりも工具や
竿の製作に興味を持ち、もともと魚
が釣れる竿を作りたいと思って
いたのですが、高校生になって、
工具や竿よりも、魚の生態を知っ
ていたほうが釣れるのではない
かという考えを持つようになり
ました。いくら釣竿を変えても、
釣れないときは釣れないので、逆
に、魚の生態・習性が分かれば
もって釣れるのではないかと思っ
たからです。

中高一貫コースでは、興味関心を
深めるために、これまでどのよう
な学習をしてきましたか？

石田先生 キャリア学習は、ま
ずお互いの思いをしつかり話せ
る・聴けるようにする場作りか
ら始まります。働くという行為
自体、他者の存在が欠かせないも



◀ 中本拳士朗君(高二)

のであり、これは有意な活動をす
る土壌作りとして極めて重要で
す。その後、好きなものを五十個
書く活動などで興味関心を自覚
化し、一方で人からどのように見
られているのかという他者評価の
取り組みを職業と絡めて行いま
す。このような活動で徐々に見え
てくる自己とマイテーマのつなが
りを、新書・新聞記事レポート、
オープンキャンパスレポートなど
で深めていきます。特に、新書レ
ポートは第一弾では自分の興味
ある分野のものを選び、第二弾で
は大学教授や研究者出発で選び
ます。こうして、マイテーマは学
問や大学・社会へとつながって
いきます。さらに、テーマ発表会や
志望理由書・小論文作成、面接
指導などを経て、最後はキャリア
マップを作成して一年半のキャリ
ア学習は一段落となります。

学習を通して、どのような影響
がありましたか？

原田 この学習、特にテーマ発表
会の前まではただ漠然と海が好
きというだけで、何が好きかと聞
かれても上手く答えることがで
きなかったのを思い出すと、今は

すごく変わりました。
中本 僕は表面上の知識という
か、魚の名前だけ知っていると
いう状態で、知ったつもりになっ
ていましたが、新書や、ネットなど
で調べていくうちに、魚の生態を
知ることができ、自分の考えも深
められてよかったです。

石田先生 二人はテーマ発表会
の前に、山口大学の図書館に行き
行ったりして知識を深めていま
した。

これまで、漠然としていたことが
絞られ、深まり、具体化していく
二人の変化を感じましたが、次
のステップではどんなことをし
ていきたいですか？

原田 深海の研究所でジャムス
テック(海洋研究開発機構)とい
う所に興味があり、連携先の一つ
である東京海洋大学の大学院に
行きたいと思っています。

中本 僕は逆にまず広島大学を
目指すことを決めました。そこか
ら、その大学について調べていく
と、自分の興味のある研究をして
いる教授を見つけ、行きたいとい
う気持ちが高まりました。

◀ 原田明斗君(高二)

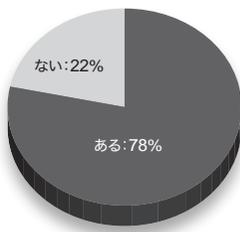


アンケート

慶進生の夢を教えてください。

慶進中学校には、10期生72名、11期生71名、12期生67名の合計210名の慶進生が在籍しています。彼らに「今、夢がありますか」「どんな夢をもっていますか」と聞いてみました。210名の夢が集まり、慶進の世界を作っています。

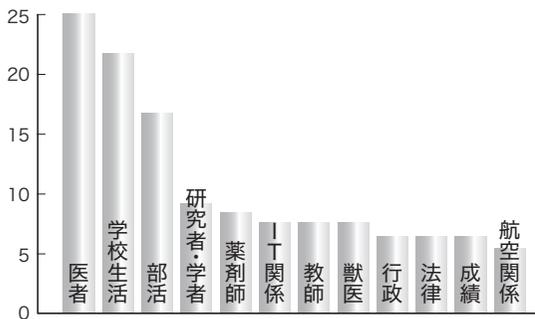
Q 今、夢がありますか？



初めて乗った飛行機。そのときからずっと飛行機が好きで、パイロットになりたいという夢を抱きました。操縦は決して簡単なことではありませんが、途中で諦めず、努力し続けて、いつか一人前の機長になりたいです。私は絶対に、自分の手で空を飛びます!!

中一女子

夢ランキング



中一男子

私の夢はパイロットになることです。きつかけは私が三歳のときに

私の夢は薬を開発する研究員です。なぜなら、自分自身がアレルギー症状を発症したとき、良い薬がなくて苦しんだ経験があり、私と同じようにアレルギーの症状に苦しむ人を一人でも多く救いたと思うからです。

中三女子

今回のアンケートを実施し、ほとんどの慶進生が夢を抱いていることがわかりました。今、夢がないという人が22%いましたが、その多くがコメント欄に「いっぱいあって決められない」や「今、思っていることが本当に自分においているの悩んでいる」と書いてありました。

夢の身をみてみますと、学年ごとには段階がみられました。中一の多くは「学校生活・部活」を夢としてあげている慶進生が多かったです。その内容は「生活習慣をみつきたい」や「テニスをうまくやりたい」といったものです。中二では職業をあげる慶進生が多くなりました。中三になると、自分を省みて、自分の夢への悩みが生じた慶進生もいました。その一方で、将来について具体的に描いている慶進生もいました。

La Classe de Keishin

英語

慶進で掴む夢のきつかけ

向上 沙希(高一)

最近、海外で活躍する日本の方や日本に興味を持つ外国の方を取り上げたテレビ番組をよく見かけますね。これらの番組を見て、海外に興味を持ち始めた人は多いのではないのでしょうか。さらに気がつくことは、日本にいても、予想以上に外国の方と出会う機会にあふれているということです。この時に、やはり英語や他の言語が話せない、この機会を逃してしまい、もったいないですよ。

私たちが学校で英語を学ぶ目的は、受験対策はもちろんですが、英語を話す能力を身につけ、自分の興味を深めることにあると私は思います。

慶進では、「英語会話」の授業だけではなく、校内外の英語弁論大会に出場することで発話の練習が出来ます。私は中学二年の時から年に一回、校内英語弁論大会に参加し、山口県大会や全国大会に数回出場しました。その時の練習を通して、次第に海外に行つて英語を話したいと思うようになり、そして高校二年の時、アメリカに留学する決心をしました。

慶進での活動やアメリカ留学を通して、私は生きた英語に触れることができたと思っています。もちろん、このことによつて自分の世界は広がりました。

最近の話ですが、旅行先のホテルで外国の方に出会った時、四時間ほどずっと話し続けたことがあります。その時の会話で私の海外に対する関心はさらに広がり、同時に友達も広がりました。

もし、語学や海外に興味があるならば、ぜひ、自らきつかけを掴みに行ってください。慶進にはそのきつかけがあふれているはずです。



外の世界が慶進生を磨く

この夏、部活動や行事で多くの慶進生が外の世界に挑戦しました。慶進の境界をでると、普段とは違う世界が広がり、そこで磨かれることで慶進生は成長し、夢を広げていくことでしょう。ここでは、そんな外の世界の一つであるディベート甲子園と科学の甲子園Jr.を取り上げます。

ディベート甲子園

10期生 李 卓衍(中三)

今年の夏、中学三年生六名で結成したチームでディベート甲子園に出場しました。

初出場となるこの大会に向けて与えられたわずか四週間の日々を今でも鮮明に思い出します。

膨大な量の資料に困惑する放課後の集い、展開されていた議論と矛盾した新しい視点の浮上、そしてそれらハプニングに飲み込まれないよう努力した仲間たち。他の出場チームと比べて準備時間が短く、経験の少ない中、予選では全チーム中なんと一位。



そして最終的には二位となりました。その後出場した

全国大会では、予選敗退となりましたが、かなりハイレベルな議論が展開できたと思います。

私たちは、試合が終わるたびに「ディベートはジャッジを説得するゲームだ」と強く感じていました。討論といえれば相手の論点を無にすることだけに没頭してしまいがちですが、結局はどのように自分の主張をよりアピールできるかが勝負の分かれ目です。

今回は第二反駁を担当しました。私の役目は、価値の比較や議論のまとめを行い、三分間の中でどれだけ担当する側の議論を論理的かつ有効的なものとして見せられるか、自分に試練を与えました。これが上手くいったこともあれば、失敗交じりだったこともありました。こうした心かけは、試合全体に響くものとなりました。

ディベートで養われた倫理的思考力、洞察力、情報収集力、そしてコミュニケーション能力。中学生でありながらこうした能力を磨けたのは、ディベート甲子園に出場できたからだだと、今も感謝しています。



科学の甲子園Jr.

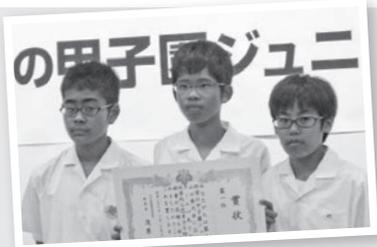
山口県大会

11期生 立石 真之(中二)

僕は、この夏「科学の甲子園ジュニア山口県大会」に出場しました。きっかけは「科学が好きだ」という思いからでしたが、みんなの協力のおかげで、山口県大会では優勝することができました。

この大会は、普段学校で行う試験とは違い、三人一組で力を合わせて筆記試験と実技試験に取り組むというものでした。難しい問題を協力して解くことや、学校ではやらない実技試験は、とても貴重な体験になりました。今回の大会で学んだことは、「チームワーク」だと思います。

優勝という結果は本当にチームメイトである内山君、白石君に筆記試験も実技試験も助けられて得たもので、一人で成し



得るものでは絶対ありません。特に、ある装置を作りその性能を競うという実技試験では、とにかく何回も試して調整を繰り返し、シンプルながら、より良い物を作り上げられたのは「チームワーク」があったからこそできたと思っています。

僕の将来の夢は、科学者です。それは一人だけでできる仕事ではないし、何回も失敗を重ねてそれを糧にしていくこともあると思います。今回の科学の甲子園への出場は、僕の夢につながっていくとても大事な経験だと思いました。

しかし、この大会はここで終わったわけではありません。まだ、全国大会があるのです。全国では、県内一位と二位が組んで、六人のチームで戦うので、これまでほとんど話したことがない人と組むことになりました。それでも、とにかく六人で協力し、「科学が好きだ」という気持ちを忘れずに、少しでも良い結果が取れるように、全力を尽くしていきたいと思っています。



進学羅針盤

中高一貫コースでは、これまで進学指導部より年二回「進学羅針盤」が発行されてきました。中高一貫コースの進学実績や様々な取り組みを紹介したものです。この度より、その「進学羅針盤」が本紙に掲載されることになりました。進学指導部からみた慶進の世界をご覧ください。

過去三年年の入試総括

過去三年間の大学入試結果を振り返ると、難関大学の合格者数二桁が継続し、安定している。とりわけ、最難関については、東京大学二〇一三年一名、二〇一四年一名、二〇一五年四名と三年連続合格者を出し、昨年は現役で理Ⅲ2名・理Ⅱ1名という快挙となった。また国立大医学科へ三年間で21名が合格している。高いレベルで互いに競い合い努力を促す土壌が慶進の中高一貫コースにあることの証左であらう。

地元の山口大学や隣県の広島大学などの近隣大学に加え、国公立・私大ともに関東・関西の大学にも多く合格・進学していることも特

	難関大学※1 (内最難関)	国公立大学・ 大学校	有名 私立大学※2
2013	14 (9)	39	54
2014	16 (11)	37	32
2015	12 (7)	43	46

※1) 難関大学：東大・京大・北大・東北大・名大・阪大・九大・東工大・一橋大・神戸大・国公立医学科 ※2) 有名私立大学：早慶上理・MARCH・関関同立 (下線は最難関)

徴である。自分のキャリアを考え、幅広く大学や学部の研究を行う慶進ならではの傾向と言える。

在校生にも、自分の将来をしっかりと見据えた上で、人生の大きな選択となる大受験を勝ち抜き、社会で活躍していただきたい。

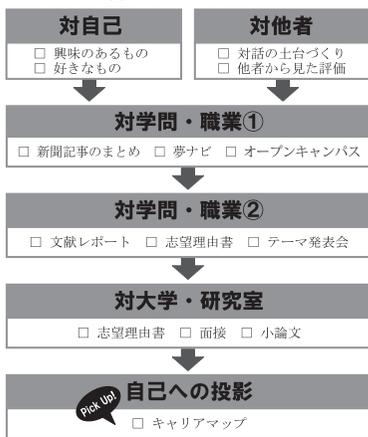
PICK UP!!

キャリア学習

世界中の社会構造が大きく変化している今日において、皆さんにとってもっとも重要なことは何でしょうか。受験勉強をして高い偏差値の大学に入学することでしょうか？ 将来業に暮らすために高収入の職業を目指すことでしょうか？ あるいはいくせ世界は目まぐるしく変わるから、その流れに身を任せることでしょうか？ いえいえ、どれも違うのです。この激動の時代に必要なのは、自分の興味関心・個性特性を自覚し、それを深め、社会との接点をさぐりつつ将来の自己の社会的役割を考えて進路を見出すことです。そして、それは「自分ってなんだろう？」「将来どうしよう？」「そんな素朴な問いが浮かび上がってくる思春期、すなわち皆さんが中学生・高校生ときでなければならぬのです。

慶進中高一貫コースでは、ともに関わりあい刺激しあう素晴らしい仲間との切磋琢磨、すなわち個と集団の相互作用を利用して、左図のような体系的なキャリア学習を行っています。

▼キャリア学習のフローチャート



中高二年生は、七月二十三日(木)の勉強会初日に、キャリア学習の総まとめとして、キャリアマップ発表会を行いました。キャリアマップとは、マイテーマ(自分の夢・志の学問領域における位置づけを明らかにし、関連学問領域・視点や社会課題、大学・研究室とのつながりを一枚のマップにするというものです。これまで中高二年生は、様々な活動の中で、志望学問領域の中の課題の洗い出し、問題点の提起、その解決策の提示など、「考える」「深める」「伝える」「表現する」という学習を中心に行ってきました。キャリアマップは、そうしたキャリア学習の総まとめとして、最後にもう一度、志望学問領域周辺の知識の整理・関連付け・現状把握を行い、自己のキャリア形成の土台を確立するといふものです。これまでの一年半の学習を通して、多くの生徒が、自己の変容・深化を感じ、自らの将来を身近に感じることができたようです。



マーケティングについて抽象的で漠然とした認識だったが、キャリア学習を通して自分が将来やりたいことが固まった。特にこのキャリアマップ作成で、定性・定量調査、価格決定等の過程や、商品のユニークセリングポイントの提供などの企画段階での戦略などについて改めて学び、さらなる理解を深めることができた。今後は、ストーリープランディングについて学んでいこうと思う。

8期生 伊藤圭亮(高一)

SERIES IV | The Talking with schoolmate...

同窓生



山田 城

山口大学 医学部医学科

有吉 伸頭

山口大学 医学部医学科

山口大学医学部

「慶進会」の慶進

今年度で慶進は第7期生が卒業されることになりましたが、ここ山大医学部にも慶進卒生が増え始めてきました。それで、最近、慶進会というものもが設立されました。簡単に言いますと、山大医の慶進メンバーを集めた会です。といつてもまだ何の活動もしていませんが、私としては、部活以外で先輩と触れ合う機会も少ないですし、何かしら会合を開きたいものです。今はできなくても、そのうち後輩も増えるでしょうし、自分自身がアドバイスできるような先輩になり、後輩に何かを伝えられるような場にしようとは思っています。

私は、大学の講義で日々医学の勉強をしていますが、高校時代に思っていたものとは異なっていました。具体的に言いますと、医学は、想像以上に広くて深い分野ばかりです。さらに、臨床医になる三段階前くらいを学習しているように感じています。高校時代では整形外科医を視野にいれていましたが、新たな知識を詰め込んでいるうちに、他分野での活躍も面白いのではないかと思うようになりました。再び、自分の進路に悩み始めています。しかし、まだ卒業までに長い時間がありますから、知識だけは広げておき、学習後、もう一度医学と向き合ってみようと思っています。

知識を広げると言いますが、大学の勉強は高校のとはまた異なっており、簡単ではありません。大切なことは、知識を自分の中で正しく昇華させることだと感じています。みなさんにはひとまず、勉強習慣だけは最低限身につけて欲しいです。

山田 城

なぜ慶進に入学しようと思
いましたか？

山田 中学校受験について
小学生が具体的にわかるも
のではないと思えますが、
当時、自分は勉強をしたい
という意志を親に伝えたの
で、親がこの慶進を探してき
てくれました。

勉強したいという意志とは
ありましたか？

山田 僕は小学生の時から
医師になりという思いが
あつて塾にも通っていました
し、問題を解く楽しみとい
うのもわかつていたと思いま
す。

有吉 僕は小学生の時から
知らないことを知ることが
喜びでした。そんな時、慶進
中学校の入試問題を解く機
会があり、その問題を解いて
いくととても面白く、「慶進
に入学すれば、面白いもの、
楽しいものに出会える」と
思ったので入学しようと思
いました。

中学校受験の勉強は楽しく
取り組みましたか？

山田 数学や理科などでは
ひねったおもしろい問題が

あつたので、特に苦に思うこ
とはなかったです。

有吉 覚える作業は嫌いで
したが、数学や理科の問題
を解くのはすごく楽しかつ
たです。なので、そういった
面白い科目しか楽しくでき
なかったですね。

山田君が抱いていた医師と
いう夢は、中学校・高校でぶ
れたりしませんでしたか？

山田 中学校時代はあま
りぶれなかったですね。しか
し、高校一年の二期にぶれ
ました。本当に自分は医師
になつていいのかということ
に悩みました。そこで、以前
から数学だけは得意だった
ので、数学を研究するか、教
師になつて数学の勉強方法
を教えるという方向もある
のではないかと思いました。
どうして医師になつてもよ
いのかと悩んだのですか？

山田 僕は、昔から医師に
なりたいたいと言いつけてきま
したが、医師としての将来
像が見えていかなかった気が
します。医師とは何なのかを
悩みました。

有吉君の中学校時代の夢は

何ですか？

有吉 その時々でなりた
いものや憧れはありましたが、
夢として追いかけるものは
なかったです。勉強するのが
好きで、勉強をして学力が
ついてきて、医学部に入学
することができました。中
学校ではその時夢中になれ
ることをしていたと思いま
す。特に部活動のバスケット
ボールに夢中でした。勉
強よりもバスケットボール
でした。放課後になつたらす
ぐに教室をとびだすとい
う感じでした。結局、試合では
勝てなくて辛かったですけ
どね。

高校時代に学校生活の中で
夢への道が開いたことは
ありましたか？

有吉 「これ」という一つの
ものがあつたわけではなく、
たくさんの行事を経験し、少
しずつ自分を形作つていつ
たからこそ、今の自分がある
気がします。

自分がこれから進もうとす
る夢は何ですか？

有吉 今までの自分は、人
に言われたことや、やらなく

てはいけないことだけをや
ってきました。やらなくては
いけないことなので、辛くても
やることができました。しか
し、これからは自分が本当に
やってみたいことをやってみ
ようかなと思います。それは
人から強制されるものでは
なく、義務でもない。やらな
かったからといって誰かが怒
るわけでもない。そういうも
のを続けることはすごく難
しいものだと思います。僕は
そういうことにこれまでチャ
レンジしてこなかったが、そ
ういったものにチャレンジし
ていこうかなと思つていま
す。

では最後に、後輩達にメッ
セージをお願いします。

山田 いかに自分で勉強で
きるかどうかが大切です。
大学ではこれが答えという
ものがないです。同じ対象を
取り扱つていても、研究者が
違つたと答えが違つというこ
とがあります。そういうもの
のをいかに自分のものとし
て理解し、アウトプットする
かが大切です。その自分のも
のにするトレーニングとな

る勉強をして欲しいです。僕
はそういう力を高校時代に
ある程度身につけておけば
よかつたと思つています。単
にテキストにある問題を解
くというのではないですね。

有吉 大学生になつてみる
と、中学生・高校生はやつ
ぱり楽しかつたなと思いま
す。夢も大事だけど、夢とい
う言葉に惑わされず、また
将来のための勉強というの
ではなく、部活のことでも、
友達と遊ぶことでもいいの
で、今の前にあることに
全力でぶつかつて欲しいで
す。夢というのは持たされる
ものではなく、何かのきつ
けにより自分で気づくもの
だと思えます。全力で物事に
ぶつかることによつて、その
きつかけに出会い、夢を持つ
ようになるんだと思います。



| お | 知 | ら | せ |

■平成28年度 入試日程

10月17日(土)	11月14日(土)
入試説明会	入試説明会
12月17日(木)～19日(土)	
A日程入学試験願書受付	
1月10日(日)	
A日程入学試験	
2月9日(火)・10日(水)	
B日程入学試験願書受付	
2月13日(土)	
B日程入学試験	

ご不明な点については、慶進中学校・高等学校にご連絡ください。

TEL 0836-34-1111

La photo de Keishin 電子黒板 

慶進中学校の全ての教室には、二学期から電子黒板が設置されました。ICT活用が求められる時代に決して珍しい機器ではありません。慶進生に勝るとも劣らない好奇心を持つ先生方は、この電子黒板を利用しようと目を輝かせて授業準備に取り組んでいます。こんな便利な機器も、きっとどこかのだれかが「抱いた夢」が実現したものなのかなと思います。そしてその環境の中で学ぶ慶進生も、それぞれの心の中に大きな夢を抱いて欲しいと願っています。


 第5回 小さな本箱

社会科 秋穂 実先生のおすすめ

フットボールの新世紀

今福 龍太

この本に出会ったのは二〇〇八年。京都大学の社会学の講義で自由レポートを課された私は、すぐにサッカーをテーマとすることに決めました。当時、スペインのクラブチーム、バルセロナには監督グアルディオラ、メッシ、アンリ、エト、シャビら鬼才が集い、ボールポゼッションを重視したスタイルの「テイク・タカ」と称されるサッカーをつくりあげました。ピッチ上で即興的に描く、人とボールの軌跡はただ美しく、しかもそれが世界中でタイトルを総なめにし、国境を越えて人々を魅了しました。その時はスポーツこそが現在、人間が作り出している最も芸術的な表現であると確信しました。あまりにも多くの人が夢を抱き、淘汰されながらも途方も無い時間を鍛錬に費やし、その身体の運動と巧みに操られる道具によって、集団で、しかも即興的に表現されるひとつの「ゲーム」。それが全世界に発信され、消費・評価されている現実になっていたのです。

スポーツを語ったことのない私は、書籍を漁り、今福龍太の『フットボールの新世紀』に出会いました。「フットボール。足一球。この簡潔な

表現の中にこそ、最も深い本質と最も軽快な即興がともに宿っている。足と球の直接のつながりが時を生きるための「いま」をつくりだし、その「いま」が永遠に連鎖しながら私たちの過去と未来とを包み込む……。」「フットボール」より抜粋)

卓越した観察力・想像力・表現力で、冷静に、丹念に「スポーツを通して人そのものが語られます。その自由自在な視点は、社会科教員である私に今も様々なことを教えてくれます。



◀秋穂先生(先生文庫の前)

先生文庫とは、慶進の先生の愛蔵書を並べた書棚のことです。慶進の先生方の知識の源泉に触れることができます。授業をしている先生方の本を読み、授業の理解がより深まる慶進生もいることでしょう。また、大学入試に備え、専門的な知識を身につける助けともなることでしょう。慶進生の知的好奇心が刺激されることを願って設けられたのが先生文庫です。